

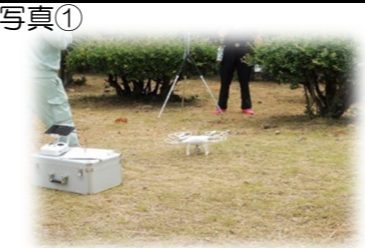
<活動報告書>

フリガナ	トクシマケツツツギコウトウカ ヲコウ	
①団体名・学校名	徳島県立つるぎ高等学校 建設科	
②担当者	フリガナ	
	氏名	
	所属 役職	建設科 土木コース
	TEL	0883-62-3135
	E-mail	
③申請テーマ	洲本城ジオラマ模型制作	
④活動期間	2018年 4月 ~ 2020年 9月	
⑤活動内容を記載	<p>完成模型 縮尺1/250,等高線感覚2m,幅1275mm,長さ1275mm,高さ550mmのサイズの大きさとする。 制作目標として(1)できるかぎり忠実な復元を行う。(2)可能な限りの軽量化を図る。(3)歴史や文化について考える良い機会とする。 活動内容は2018年(事前調査)県内のコンサルタント会社に協力していただきドローンによる空撮や本校機械科の協力により3Dプリンターでの地形モデル制作。また、図書館での資料採集等を同時進行で行い縮尺1/250の拡大地図を60枚作成。各標高ごとに等高線をチェックし切り出してウレタンボードに貼り付ける作業wお行った。 2019年(本格的に制作開始)切断した各標高のボードを特殊ボンドで接着・積み重ね基礎となる地形モデルを作成。紙粘土で地肌(山肌)を制作し表面をカラスプレーで着色。それと同時に石垣や本丸の城壁を石膏で制作し組み立てた。 2020年(模型完成)本丸模型を地形モデルと結合し全体のバランスを視る。忠実に再現しつつも洲本城があまり目立たないのでミニチュアの樹木を500本制作し、城の周辺に配置してよりリアリティーを増し本丸が目立つように工夫した。また、過去の城内図と照らし合わせ、崩壊した城壁や自然石を再現し、より完成当時の城の再現に努めた。模型が完成してからは有志の生徒で洲本城周辺の清掃活動を行った。また、石工の匠の方を講師として学校に呼び石工についての仕事や石積みについての講演をいただいた。</p>	
⑥活動費用合計	201,178円	
⑧別紙説明資料の有無	ある ・ なし	


<活動状況写真>

【写真1】

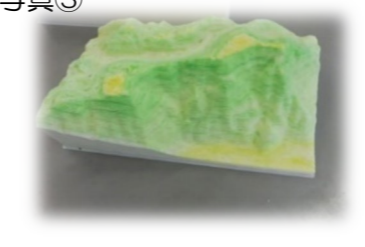
写真①



写真②



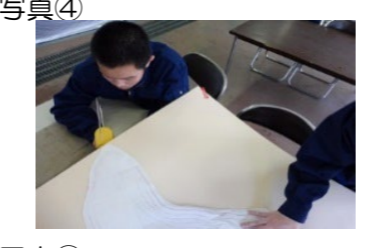
写真③




(状況説明)
 2018年(事前調査・現地調査)写真①:現地でドローンを用いての空撮をコンサルタントと一緒に。写真②地図を拡大・貼り合わせスケールに応じた地図を作成。写真③ 3Dプリンターで現地系を制作。築城された頃の地図や地物と照合し今後の作業を検討した。

【写真2】

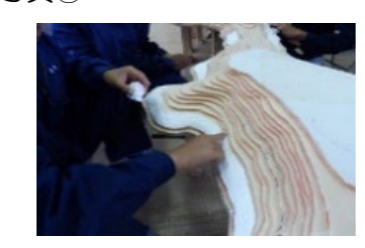
写真④




写真⑤



写真⑥




写真⑦




(状況説明)
 2019年 写真④各標高ごとに切り取られた地図を貼り付けたウレタンボードをカッターで切断。写真⑤切断したボードを積み上げボンドで固定し紙粘土で地表(山肌)を制作。写真⑥3Dプリンターや現地写真・地図や測量データと照合し微調整。写真⑦のずら積み石垣を写真を見ながら石膏で再現する。緻密な作業でありできるだけ現状に近づけての再現を心がける。

【写真3】


写真⑧




写真⑨



写真⑩



写真⑪



(状況説明)
 2020年 写真⑧天守閣城壁を先に再現。写真⑨城が目立つように樹木を作成し色違いのスプレーで着色する作業。写真⑩崩壊した山肌に崩れる前の石垣3段を江戸時代の地図より作製する等模型全体の修正作業。写真⑪完成記念写真。洲本城資料館に寄託することとなる。